

令和4年度 自己点検・自己評価公表シート

認定こども園 大東幼稚園

1. 本園の教育目標

きりっとした たくましい子
やさしく たすけあう子
おしまいまで がんばりとおす子

本園では、創設以来上記の3つの目標を教育目標に掲げてきています。この精神をふまえて、義務教育やその後の教育の基礎を培うものとして園児の教育に取り組んでいます。園児の健やかな成長には、周囲の環境が大きく作用します。豊かな心情や物事に自分からかかわろうとする意欲や生活態度を培うのも周囲の環境との相互関係によるところが多く、そのための環境整備に努め、その心身が健やかに成長・発達するよう日々実践を重ねています。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

認定こども園教育・保育要領を踏まえて、幼稚園の教育課程の内容を確認し、教職員の共通理解を図って、教育・保育の質を高めていく。さらに保護者のニーズを把握しながら家庭と幼稚園が一丸となり、幼児期の子どもの成長を共に援助することに努める。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
『教育課程』 『保健管理』 健康や安全に対して、必要な習慣や態度を身につけていけるよう工夫し、計画的な保育を実施しているか。	日々の保育において、認定こども園教育・保育要領の理解を深め、幼児の発達に即した実践ができるように、幼児の姿や遊びの記録をもとに、職員間で話し合いを重ねて保育を進めた。 日常の健康観察や新型コロナウイルス感染症を含む、疾病予防のための取組を積極的にすすめるとともに、家庭や医療機関等とも日頃から連携をとるように努めた。
『特別支援教育』 『組織運営』 組織的な運営を推進し、保	保護者とも連携をとりながら、個別の指導計画や支援計画を念頭に置き、職員間で育ちを共有し、保育にあたった。医療・福祉・臨床心理士など関係機関とも連携をとったり、

保護者と連携し、個々の園児に対して細かい指導に心がけているか。	療育施設とも、育ちを共有し園内支援体制の整備を進めた。 教育目標等の達成に向けた活動や園務分掌等が円滑に機能できた。
『情報提供・学校評価』 指導計画を振り返り、評価・反省を行いつつ、園の情報を積極的に公開しているか。	園に関する様々な情報の提供を積極的に進め、園だより等保護者への情報提供やホームページの活用など広く周知した。また、公開保育を行い、他校種の先生方から色々な意見を頂き、全教職員が学校評価に関与しながら、改善への取り組みをすすめた。
『子育て支援・預かり保育』 地域や保護者の実情や要望を把握して、これらにしっかりと、こたえられているか。	昨年に引き続き、預かり保育のクラスを2部屋にわけたりするなど、コロナ感染対策をしながら地域や保護者の実情や要望にこたえて支援活動をし、預かり保育を受け入れる体制を整えた。また、子育てにおける相談機能を充実させた。
『教育環境整備』 『安全管理』 園庭や保育室を中心にして園児の過ごす環境について、安全でより充実するよう進めているか。	施設・設備の安全・維持管理のための点検の取り組みを進め、施設、設備を十分活用し保育にあたるように努めた。また、遊具、用具、図書等の整備も計画的に進めて、保育・生活環境の充実のために取り組みを推進している。

4. 学校評価の具体的な目標と、その総合的な評価結果

個々の教員がそれぞれの目標を持って、幼児教育・保育の重要性を認識しながら自己評価し、さらに公開保育を行い他校種の先生方からの意見も頂き、幼稚園の教育方針や課題を明確にする方向へつながっていった。また、行事に関しては、昨年に引き続き様々な感染対策をしながら、行事の形を工夫して実施することができた。成果のあがった教育・保育活動を推進した。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
『保健管理』 『教育課程』 健康や安全に対して、必要な習慣	健康、保健に関して、家庭や医療機関市町村等と連携をとりつつ、園児にも意識づけを図り、日常の健康観察や疾病予防のための取り組みや健康診断を

や態度を身につけていけるよう工夫し計画的な保育を実施しているか。	計画的に進める。 認定こども園 教育・保育要領にそって幼児の発達に即した指導に努め、日々の保育において、ねらいを持った保育を進める。
『特別支援教育』 『組織運営』 組織的な運営を推進し、保護者と連携し、個々の園児に対して細かい指導に心がけているか。	保護者と連携をとりながら、個別の指導計画や支援計画を作成しつつ、医療・福祉など関係機関との連携を積極的にとり、支援教育に努めていきたい。また、臨床心理士と連携をとり、より手厚いケアが出来るよう努めたい。
『情報提供・学校評価』 指導計画を振り返り、評価・反省を行いつつ、園の情報を積極的に公開しているか。	引き続き、園に関する様々な情報の提供を積極的に進め、園だより等保護者への情報提供やホームページの活用など広く周知し、全教職員が学校評価に関与しながら、改善への取り組みをすすめる。
『子育て支援・預かり保育』 地域や保護者の実情や要望を把握して、これらにしっかりと、こたえられているか。	地域や保護者の要望による子育て支援活動と、預かり保育の充実をはかる。また、キンダーカウンセリング及び育児相談の環境を整える。
『教育環境整備』 『安全管理』 園庭や保育室を中心にして園児の過ごす環境について、安全でより充実するよう進めているか。	園庭や室内の環境について教職員で話し合い、遊びが充実するように幼児の発達に添った環境構成に取り組む。施設・設備の安全・維持管理の取り組みを進めると。

6、学校関係者の評価

特に指摘すべき事項はなく、妥当であると認められる。

7、財務状況

公認会計士監査により適正に運営されていると認められる。

令和5年6月5日

令和4年度 学校関係者評価委員名簿

学校法人 井上学園
認定こども園 大東幼稚園

前年度 保護者会会长	家中 しのぶ
前年度 保護者会副会長	成枝 真子
前年度 保護者会副会長	森 亜紀
現 保護者会会长	川西 沙織
現 保護者会副会長	佐々木 歩
現 保護者会副会長	谷元 恵子
現 保護者会副会長	中道 貴絵

令和4年度　自己評価・学校評価

自己評価

- 昨年に引き続き、コロナウイルス感染症対策を行い、手洗い、室内換気、毎日の保育室消毒などを徹底し、子どもたちや職員の体調管理にまだまだ気を配る必要がある。子どもたちもマスク着用や手洗いをすることの大切さを理解し取り組んでくれているように思う。これからも安全に過ごせるよう続けて行っていく。
- 子どもたちの遊びの中で危ないと感じられることは注意し見守ることも必要だが子どもたちがチャレンジしようとしていることには応援し、始めからさせないよりも見守りの中、経験させてあげることも大切だと思う。
- クラス内で困っていること悩んでいることなどは職員同士で何でも話し合える環境や雰囲気を大切に思っている。一人で抱え込まず身体も心もしんどくならないよう誰にでも相談して欲しいと思う。
- 防犯訓練では今まで訓練だと理解し真剣に取り組む子どももいれば中には笑って参加する子どももいました。ですが今回は警察の方が来て下さり本当に知らない人が園に入ってきたので笑っている子どももほとんどいなくて話もしっかりと聞いていたと思います。
- 特別支援が必要な子どもが複数いるためその子どもたちそれぞれに対して平等に支援をしたい思いがあるが現実的には重度の子どもに付きっきりになることが多いため今後対策を考えたい。
- 延長保育では、その日あった出来事やけがの連絡などをホワイトボードに記入し職員間で共通理解しているが、そのことがきっかけとなり、保護者の方とコミュニケーションを取る機会も増えたので嬉しく感じていた。今後も続けていきたいと思う。また通常と違う保育の流れになる時は、担当の先生同士で声掛けをこれからも大切にしたい。
- 2学期は、自発的に考え方などに挑戦してくれる子どもたちが増え嬉しく感じる。
(おにごっこのルールなどを友だちに伝え、大勢のお友だちと楽しさを共有する。泣いている子がいると掛けより声をかける。小さいお友達のお世話をしたり優しくおしゃってくれる。のぼり棒が出来なかつたが何度も挑戦し出来るようになり自分を誇らしく感じる姿など) 2.3学期は頑張っている姿や気付いた子どもたちの姿を子どもたちと共有しさらに良いホームクラスにしていきたい。
- 年長の担任で行事ごとが多いこともあり、先輩の先生方から事前に引き継ぎノートがあることを知らせてくれていたのですが、確認不足で何点かきちんと引き継ぎできず例年と違ったことをしてしまったところがありました。二人担任なのでお互いがしっかりと確認して協力しながら進めていきたいと思います。運動会の組み立て体操では、把握できない部分が多く練習中盤で去年の年長担任をされていた先生に丁寧に引き継いでもらい教わったので、来年はスムーズに進められるよう記録して引き継いでおこうと思います。

○写真屋さんが変わって依頼の方法も変わってから、前もって考えておかないといけないことが分かったので、そこもしっかり伝えていきたいと思います。アルバムの写真は画質も良く子どもたちの自然な姿が映っている素敵なものばかりだったので良かったです。撮影時間も大幅に短縮できているので良いと思いました。

○子どもたちの「したい！」を認める一方で安全にも配慮するときのバランスが難しいと感じる。

○前期、大きな事故や怪我がなく過ごすことが出来て良かった。事務や学年の引き継ぎなど職員間の連携や保護者対応を今後も丁寧にやっていきたい。

○クラスで子どもたち同士のコミュニケーションが少しずつ増えてきており、それと共にケンカも増えてきました。思いやって、なぐさめの姿もあるので、それぞれの姿を認めながら進めていけたらと思います。

○入園当初から見ると随分成長したように思えるが、問題を抱える子どもが多く、個人の特性が活かせるよう見守っていきたい。

○大きな行事、運動会を終え“力を合わせてがんばる”ことを実感し、次はお遊戯会に向けて目標を持って取り組んでほしい。小さな努力で大きな達成感が味わえるよう保育者は計画性を持って取り組みたい。

○保育室の環境を整え、保育者の目の届く範囲で子ども達が自由にのびのびと遊び、学べる環境や職員間の連携をより大切にしたいと思います。それぞれの子どもに合った言葉掛けや対応にも工夫が必要だと感じたため、統一できるよう意見交換が大事になってくると思いました。

○子ども同士のおもちゃの取り合いや、だんじり遊びなどのケガが多く見受けられた。子どもが伸び伸びと好きな遊びをすることは尊重したいが、伸び伸びの中でも、安全に遊べるよう見守りを強化していきたいと考えます。

○計画的に仕事を効率よくこなせていないため計画を立てて仕事を行う。

○室内で遊ぶ時の環境構成をしっかりと整えて、コーナーを作るなどし、安全に子どもたちが色々な遊びを考え楽しめるよう工夫する。

○芝生遊びの際に、トマトやナスなどの野菜を自分で採って食べる事で、野菜が苦手な子も食べられるようになっていました。自然に触れたり、新しいことに取り組むと子どもたちの成長にぐんと影響することを感じました。これから積極的に新しい事へ触れられるような保育をしていきたいと思います。

- 後輩への指導とコミュニケーションをしっかりととって、職員同士の連携をしていきたいです。
- 子どもたちが、様々な遊びを子どもの豊かな発想力で自由に楽しく遊ぶことが出来るように、またその遊びを安全に出来るように、保育者が近くで見守りながら遊びの環境づくりをしていきたいです。
- コロナウイルス感染症の拡大防止の為、数年間は活動や行事が見なされ本来経験できる事も制限がありました。今年度は少しずつ緩和されてきたので子ども達にとっても良かったなと感じます。また、行事などの変更なども職員で話し合ったり共通の理解を深めることができたと思うので良かったと思います。
- 年長で行事になると子ども達に負担をかけてしまうことが多く、遊ぶ時間を増やしてあげられるようと考えないといけなかった。たくさんのが理解し、出来るようになって、心の面でも成長していくように指導をしていきたい。ホームクラスを利用している子ども達は異年齢の関りができるが、コロナの為、普段の保育時間に関りが少なくなっているのが残念である。
- コロナも少し落ち着き、昨年度までは出来なかった行事を行う事が出来て嬉しく思います。
- 保育室の玩具が銃やライダーベルトのような物が多い為、もう少し積み木や知育玩具のような物があると落ち着いて遊ぶことが出来たり、遊びを発展することが出来るのではないかと思いました。また、平均台や戸外で使えるフラフープ等の種類も増やしてもらえると遊びの幅が広がると思いました。

学校評価

- ラインを取り入れて下さり、手紙などをすぐに確認できるので助かる。
今後のICTを使った取り組みを楽しみにしています。
- 門が施錠されるようになって安心しているが、インターホンを押すとすぐに開けてくれるのですが、知らない方が押して開けられることはありますか。新学期はまりなどどこかで事故がおきないか心配なので保護者証を提示してもらうとかはどうか。
- 写真屋さんが今年度から変更してもらって良かった。子どもが寝てからなど、空いた時間に写真を購入できるので助かっている。(買いすぎてしまうが)

公開保育 評価

黄組

○良かった点

- ・朝礼、広くはないが、みんなで楽しそうに走っていて良かった。
- ・久しぶりにマスクを外して元気に運動している子ども達を見て嬉しかったです。
- ・朝礼にて、明日の持ち物など見本を見せておられるのが分かりやすくて良いと思いました。
- ・ピアノ（音楽）で合図など子どもにわかりやすい伝え方をされている。子どももしっかり（言葉【歌詞】）歌えている（自信がある）
- ・子ども達がしっかり先生の話を聞けていて先生とのやりとりもきちんとできている。
- ・立体的の説明、書き方の説明わかりやすく丁寧にされていた。
- ・立体に描くという難しいテーマに子ども達が一生懸命について行こうと頑張っていて良かったです。
- ・自分達で制作の用意を出してきたり出来ていたのが成長を感じる。
- ・絵の具入れ プリンカップいいですね。
- ・先生の話をしっかり聞けている。
- ・きちんと座って先生のお話を聞いていた。説明をきちんと聞け、わかりやすく説明されていた。
- ・ランドセルの色ぬりをしながら園児は不思議なことを質問して答えて先に進めていた。園児が先生の話をよく理解していた。
- ・先生同士のチームワークがすごい。
- ・1つの声かけに対して子どもが動作を完了させてから次の活動に移っている。→子どもが活動しやすい。
- ・時間を意識して過ごしている。一小学校準備には欠かせません。
- ・前にある見本を見ただけで立体的な絵をすごく上手に描いていてビックリした。
- ・ランドセルの持ち手→お山 肩かけの部分→鬼のつのなど、子どもが分かりやすい言葉で説明している。
- ・子どもたちにわかりやすい合図がある。→切り替えのしやすさ

○気になった点

○質問1

「異年齢のかかわりをどのような取り組みでされていますか。」

- ・食事の時に他の人（お母さんや兄妹）のはしやスプーンはそろっているか、自分のがないときはどうするのか

○質問2

「進学に向けておうちや園で何か取り組みをされていますか？何かあれば教えていただけたいです。」

- ・自分の持ち物管理を意識するように
- ・時間に対する意識づけ
- ・準備物を子どもと一緒に買いに行き、楽しみな気持ちを高められるようにしています。

先日の小学校見学では良い体験をさせていただけたようで感謝しています。

桃組

○よかった点

- ・制作をする前に丁寧に子どもたちに説明をされているのがとっても良いと思いました。
- ・子どもたちのやる気を引き出せる感じがしました。
- ・マスクをしていても、にこやかなのが伝わる表情をされていたのが印象深く、子どもたちが安心できて、とても良いと思いました。
- ・ハサミを紙のどちらから切るとスムーズかなど細やかで丁寧な説明が分かりやすくてよかったです。
- ・3人の先生がよく協力していた。

(指導の先生・道具を渡す先生・机やいすの危ないところ、一人外れた園児のサポート)

- ・皆よく取り組んでいてよいと思いました。
- ・読み聞かせ時の子どもたちの集中力がとてもよかったです。
- ・興味をもつ絵本選び、声のトーンで最後までしっかり子どもたちが興味を持って座っていたところがよかったです。
- ・みんなで決めた目標が書かれて貼ってあるのは、とても良いことだと思いました。
- ・制作、とても集中している。
- ・スペース(机)が狭い中でも子どもがうまく場所を使ってゆずりあってる(?)作業できている。

○気になった点

- ・園児が歩くときにポケットに片手をいれている(危ない)
- ・ハサミを使う時、座っている隣同士の距離をもう少し開けたほうがいいのでは。

○質問1

「ハサミの危険性や使いかたなど、子どもが理解できるようにどのように声掛けをされていますか。」

- ・危険なことだけではなく、正しい使い方をすれば危なくないことを伝える。
- ・ハサミ、とてもよく切れているねと道具の特徴を教える。
- ・使い方をひとつずつ見る。

○質問2

「保育者の話を最後まで聞くことが出来るようになるために工夫されていることはありますか。」

- ・一日のスケジュールのある程度の見通しを持つことで先生の話も入りやすいのでは
(集団での活動時)

緑組

○良かった点

- ・子どもたちが先生のお話や読み聞かせを真剣に聞いていてさすがだなと思いました。
- ・はみ出す子どものそばに先生がすばやくそっと寄り添っていた。
- ・子どもの自由発言にも一度は相槌をうって無視をしていない。
- ・ビー玉転がし楽しそうでした。
- ・先生がはっきりとした声で子どもたちの顔をしっかりとみて話していたのが良いと思った。
- ・子どもたちが興味をもって先生のお話を聞いているのがいいと思いました。
- ・初めてのビー玉十絵具にとても興味津々な様子でした。
- ・楽しめる取り組みだと思いました。

○気になった点

- ・言葉のよくわからない(外国人)にどうしたらいいか
色、音を使って、、、

○質問1

「自分だけでなく友だちの意見や気持ちを尊重できるようになる、いい声掛けの仕方があれば教えてください」

- ・まず自分がどう思っているのか聞くようになる。自分の思いも優しく伝えられるように
- ・先生が友だちの話も聞きたい事などを伝え、聞いて共感している姿(もちろんしていると思いますが)を見せていくことが大切だと思います。

○質問2

「今3歳児で、室内や戸外でゲーム遊びをしています。(室内:いすとりゲーム、フルーツバスケット、戸外:鬼ごっこ、色鬼、かくれんぼ)各園、小学校、ご家庭でおすすめのゲーム遊びがありましたらおしえてください。」

- ・ドッジボール・転がしなどで二人で協力する遊び

赤組

○良かった点

- ・教室に入りたがらない子がいつの間にか楽しい教室に入り椅子取りゲームをしていた。

根気強く声掛けをし、子どもと寄り添っておられるのだと思いました。

・子どもたちが興味を持つ様なゲームや体操などされていて、とても良かったと思います。

興味がそれることなく、子どもたちも取り組んでいた。

・お部屋の遊具がかわいくて楽しく遊んでくれそう。

子どもたちがとても楽しそうにしていました。

・お集りの時、子どものマークを使って立ち位置を決めていて良いと思います。

・全力で子どもたちと向き合っている。

・お部屋のレイアウト、コーナー遊びの工夫（2か所と椅子）

子どもが落ち着けそうで、いいですね。

・まだまだ幼いクラスなのに対応しながら先生がみんなで楽しめる様にしていた。

・音（オルガン）を上手に使っていた。

先生が音（オルガン）で気持ちを一緒にしている点が良かった。

○気になった点

・子どもと先生が、どの辺で別れるか工夫がいる。

質問①

「友だちのお世話を優先して、自分の身支度などが遅くなってしまう子どもに対して、自分の事から動けるようになる為のいい方法があれば教えていただきたいです」

質問②

「気持ちのきりかえが難しい場合、子どもが気持ちよくきりかえるための声掛けや配慮など、工夫されていることがあれば教えて頂きたいです。」

・いったん希望を聞く。

・お友だちの楽しそうなあそびを見る。

・仲間に入る

・専任の先生が担任の先生から上手に離して、お茶を飲む、手洗いなどで気持ちのきりかえをしていた。また、うながしていた。

・自由遊び等から次への活動時へのきりかえ時等は時計、タイマー、見た目で時間が減っているのがわかります。子どもたちが見通しを持てるような視覚的なものが良いと思います。